

令和2年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	山形村にぎわい創出
事業主体 (連絡先)	山形村 山形村役場 企画振興課 地域振興係 (TEL0263-98-3111)
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,033,107円 (うち支援金: 1,388,000円)

事業内容

山形村ミラ・フード館内の大ホールに大型スクリーンと対応プロジェクター、シアタールームに固定式プロジェクター、館内全体カバーできるフリーWi-Fi基地局を導入することでパブリックビューイング (以下PV) や天体望遠鏡で覗いた星空をスクリーンに投影してみんなで楽しめる環境を整備した。

(実施イベント)

1 松本山雅ホームタウン in 山形村

「松本山雅と村おこし」をテーマに松本山雅関係者と村関係者によるトークセッションイベントと松本山雅のPVを実施した。

2 長野県は宇宙県、天体写真教室

ミラ・フード館の周辺に出て星空をデジタルカメラで撮影し、撮影したものをスクリーンに投影してみんなで鑑賞した。

事業効果

- ・山雅イベントを開催したところ、参加者の半数以上が60歳以上であった。こうした傾向から村の高齢化が進んでいる中、年配者の新たな交流の場づくりと社会参加のきっかけづくりができ、世代を超えた交流が生まれてにぎわいが創出された。
- ・コロナ禍の影響によりオンライン研修など想定外の新たな使い方が生まれた。
- ・松本山雅FC後援会山形支部のみなさんと協働で事業を実施することができた。
- ・村内山雅ファンのPVにおける1次的交流からSNSやFACEBOOKへの2次的交流に発展した。

今後の取り組み

- ・ミラ・フード館が松本山雅ホームタウン in 山形村の拠点となり、継続的にPVを実施して村内外から多くの人が集まって定期的に交流できるようにする。また、松本山雅に限らず他のスポーツのPVも実施したい。
- ・多くの人の来館が見込めるので、地場産品や飲食販売ブースを設置して村内事業者も巻き込んでいきたい。
- ・より多くの方がミラ・フード館に興味を持って来館できるような仕組みづくりをしていく。



【戦術解説とPV鑑賞】

目標・ねらい

- ①村の魅力発信と村内外交流人口の増加
- ②ミラ・フード館の多角的活用
- ③来館者数の増加
- ④コミュニティづくりの空間再編

自己評価【B】

多数の参加者からぜひ来年も実施して欲しいという強い要望を頂き、継続的な発展が見込まれる。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある